

平成27年10月
東京消防庁調査課

過去の電気調理器具の天ぷら油関連火災（東京消防庁管内）

1. 平成26年中に発生した電気調理器具の天ぷら油火災

発火源	概要	用途	程度
電気こんろ (ラジエントヒータ 3口)	片手鍋に油を入れ、「強」で加熱中、他の調理をしていて発火	住宅	ぼや
電気こんろ (ラジエントヒータ 1口)	片手鍋に油を入れ、「強」で加熱中にその場を離れ発火	共同住宅	ぼや
電気クッキングヒータ (シーズヒータ 2口)	両手鍋油を入れて加熱中、他の調理をしていて発火	共同住宅	部分焼
電気クッキングヒータ (シーズヒータ 1口)	方手鍋油を入れて加熱中、他の調理をしていて発火	共同住宅	ぼや
電気フライヤー	アルバイト店員が、規定量の食用油が入っていると勘違いしてスイッチを入れ、170で加熱したため、センサーが感知せず残っていた少量の油が発火	コンビニ	ぼや
八口ゲンクッキングヒータ (3口)	方手鍋油を入れて加熱中、その場を離れ携帯電話を掛けていて発火	共同住宅	ぼや
電磁調理器 (IH2口 ラジエント1口)	片手鍋で肉を調理中、白煙が出たのでごま油を注ぎ足したところ発火	共同住宅	ぼや
電磁調理器 (3口・業務用)	天ぷら鍋で天ぷらを調理後、スイッチを切り忘れて接客していたため発火	飲食店	部分焼
電磁調理器 (1口)	IH用ではない片手鍋に指定より少ない油を入れ、天ぷらモードで調理中発火	共同住宅	ぼや

【参考】平成27年の発生状況（7月末まで・速報値）

発火源	概要	用途	程度
電磁調理器 (3口・業務用)	天ぷら鍋に油を入れて加熱中、その場を離れた調理をしていて発火	病院 厨房	ぼや
電磁調理器 (2口・業務用)	天ぷら鍋に油を入れて加熱しているのを忘れ、接客して発火	飲食店	ぼや
電磁調理器 (2口)	天ぷら鍋に油を入れて加熱中、その場を離れ洗濯物を干して発火	共同住宅	ぼや
電磁調理器 (1口・業務用)	調理中、誤って体が火力調整レバーに触れ、強火力になったことに気付かず、鍋の中の油が発火	食品物販	部分焼
電磁調理器 (3口)	フライパンに油を入れて温度設定のないヒータで加熱中、その場を離れリビングで寝てしまい発火	住宅	ぼや
電気クッキングヒータ (シーズヒータ 1口)	天ぷら鍋に油を入れて調理後、スイッチを切り忘れて発火	共同住宅	ぼや
電気クッキングヒータ (シーズヒータ 1口)	片手鍋に油を入れて加熱中、その場を離れパソコンをしていて発火	共同住宅	ぼや

平成27年の発生状況は、確定ではありません。

2. 過去3年間に発生した電気フライヤーの天ぷら油及び油かすの火災(平成24年～平成26年)

年	概要	用途	程度
24年	閉店後、清掃のためフライヤーの油を抜いたあと、誤って電源スイッチを入れてその場を離れたため、ヒータに付着した油が発火	飲食店	ぼや
24年	アルバイト店員が電気フライヤーの清掃をする際、電源を切らずに油を抜いたため、ヒータが空焚き状態となりヒータ周囲の油かすが発火	コンビニ	ぼや
24年	天ぷら油を加熱中、油温調整を行う接点の開閉リレーが正常に作動しなかったため、天ぷら油が発火	仮設店舗	ぼや
25年	アルバイト店員が電気フライヤーの清掃をする際、電源を切らずに油を抜いたため、ヒータが空焚き状態となりヒータ周囲の油かすが発火	コンビニ	ぼや
25年	加熱したまま油を抜いた際、空焚き防止センサーのフロートに油が詰まっていたため動きが悪く、センサーが作動しなかったため、ヒータに付着した油が発火	食品販売	ぼや
25年	アルバイト店員が電気フライヤーの清掃をする際、電源を切らずに油を抜いたため、ヒータが空焚き状態となりヒータ周囲の油かすが発火	コンビニ	ぼや
25年	電気フライヤーの清掃をする際、電源を切らずに油を抜いたため、ヒータが空焚き状態となりヒータ周囲の油かすが発火	食品販売	ぼや
26年	アルバイト店員が、規定量の食用油が入っていると勘違いしてスイッチを入れ、170で加熱したため、残っていた少量の油が発火	コンビニ	ぼや
26年	電気フライヤーの清掃した際、新しい油を入れ忘れて電源を入れたため、ヒータが空焚き状態となりヒータ周囲の油かすが発火	コンビニ	ぼや

【参考】平成27年の発生状況(7月末まで・速報値)

27年	アルバイト店員が電気フライヤーの清掃をする際、電源を切らずに油を抜いたため、ヒータが空焚き状態となりヒータ周囲の油かすが発火	コンビニ	ぼや
27年	電気フライヤーの清掃した際、新しい油を入れ忘れて電源を入れたため、ヒータが空焚き状態となりヒータ周囲の油かすが発火	コンビニ	ぼや

平成27年の発生状況は、確定ではありません。